

試験研究活動情勢報告（平成30年5月分）

【果樹試験場】

「新高」のみつ症軽減効果が期待される機能性果実袋の検証



機能性果実袋をかけた
「新高」

日本ナシは果面の保護や日焼け防止のために袋がけを行います。「新高」で問題となっているみつ症は、高温・乾燥時に多発するので、袋内の温度を低くすることができれば、みつ症の被害が軽減できると考えられます。今回、通常の袋にチタンをコーティングして、遮熱効果が期待できる機能性袋の試験をしています。

収穫までは通常の袋との差を見るために袋内の温度推移を比較し、収穫後はみつ症の発生率、果実品質などをみる予定です。